



新 NISA がスタート！さあ何に投資する？

今年の 1 月から新 NISA が始まり、この 1 ヶ月の間に日経平均も 33,000 円から一時 37,000 円まで駆け上がりました。元々日本株が上昇する要因はいくつかあったのですが（詳しくは令和 5 年 7 月号の沢辺通信に書いています。HP からも見れます！）、それに加えてこの新 NISA 資金流入を期待して欧米の機関資金も入ってきたこと（実際の新 NISA 資金はまだそこまで入っていない模様）、また景気が悪くなってきた中国への投資資金も日本に流れて来ているようです。

では、私達も乗り遅れないように新 NISA を使って投資をして行きたいですが、何を買えばいいでしょうか？特に積立 NISA 用として人気があるのは、世界中の株式に分散投資している投資信託（オール・カンントリー型。略して「オルカン」と言われている）です。個別株は何を買っていいかわからないし、経済成長の地域差はあっても世界全体では経済成長は続いていくでしょう！と思う方にはピッタリです。世界の経済は繋がっているので必ずしもリスク分散にならない部分はありますが、ドルコスト平均法を使って積み立てていくといいと思います（令和 5 年 11 月号の沢辺通信も参照して下さい）。それ以外では、特に経済成長が著しいインドの株式で運用している投資信託なども狙い目だと思います。

個別株を買いたい！という方もおられると思います。一般的には J T やソフトバンクなど、配当利回りが 5% 前後ある大型株を推奨する記事等が多いですが、配当金以上に株価が下落しては意味がないので、絶対潰れない企業 + （緩やかでもいいから）安定成長していて株価も比較的安定 + それなりの配当利回り、が見込める銘柄を選びたいです。

その筆頭は、やはり令和 5 年 11 月号で取り上げた NTT ですが、他にも今なら銀行株も狙い目だと思います。メガバンクは結構値動きが大きめなので、（もともと安値で放置されていた）地銀のほうが NISA には向いている気がします。広島銀行で現在配当利回り 3.6% くらいですから、まずまずだと思います。

一昔前なら電力株も狙い目だったと思いますが、現在は原発にかかわるトラブル、コロナ禍での発電コストの上昇など、リスクも小さくない業種になってしまいました。ただコスト上昇は、電気代を値上げしさえすれば吸収できることが今回明らかになりました。成長性は少ないと思いますが、タイミングによっては NISA 対象に考えるのもアリではないでしょうか。

今後の市場規模拡大が見込め、地政学リスクから日本国内への工場誘致も相次ぐ半導体関連株が現在株式市場では注目度ダントツですが、値動きがかなり荒く、配当利回りがあまり高くないので NISA には不向きです。NISA で買った株式で損失が出ても損益通算できませんので、株価が大きく下落すると NISA のデメリットをもろに受けてしまう可能性があります。

なお、これらの内容はあくまで個人的見解を述べているだけであり、売買を指示、推奨しているわけでは一切ありません。投資は自己責任でお願いします！